



社協 まるもり

編集・発行／社会福祉法人丸森町社会福祉協議会・広報委員会

TEL／0224-72-2241 FAX／0224-87-8990 所在地／981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋55-1

ホームページ／<https://marumori-shakyo.jp>

メールアドレス／marumori-syakyo@town.marumori.miyagi.jp



主な内容



丸森町社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うぐたん

- ・各種大会受賞者のお知らせ
- ・ボランティア通信
- ・笑顔いっぱい まるもりっこ
- ・うぐたんが行く！
丸森町社協 事業紹介
- ・お知らせ

手に汗握るゲーム展開！ 卓球バレー！！

令和4年11月30日、宮城県身体障害者福祉協会主催「市町村対抗卓球バレー交流会」に丸森町身体障害者福祉協会の会員が出場しました。結果は6位でした。強いチームの試合展開がとても刺激になり、来年こそはさらに上位を目指そうと誓いました。(写真：手前のコートが丸森町)

この広報紙は、町民の皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金を財源に発行しています。



受賞された皆さま おめでとうございます

長年にわたり地域福祉の推進にご尽力いただいた次の方々が、下記のとおり表彰を受けましたのでご紹介いたします。

第68回宮城県社会福祉大会受賞者

期日：令和4年11月9日

●宮城県知事表彰

社会福祉事業篤志奉仕者（褒状）

民生委員・児童委員

池田 えり子 様 引地 輝子 様

●宮城県共同募金会会長表彰

募金活動奉仕功労者（表彰状）

伊藤 光二 様 榎 並利夫 様
佐藤 泰宣 様 黒須 清光 様
佐藤 秀雄 様 大橋 進 様
八島 健 様 目黒 孝一 様
武田 正成 様 引地 弘人 様
星 昭 様 浅野 泰二 様
菊池 武由 様 佐々木 房吉 様
穴戸 與志郎 様

募金活動奉仕功労者（感謝状）

八巻 雅夫 様 木津 雄一 様
八島 廣 様 菅野 憲一 様
大槻 光一 様 小野 清一 様
引地 孝信 様 穴戸 政秀 様
水沼 秀明 様 戸村 公昭 様
引地 芳郎 様 伊藤 敏彦 様
今野 一郎 様 伊藤 昭一 様

●宮城県民生委員・児童委員協議会会長表彰

永年勤続民生委員・児童委員（表彰状）

佐藤 泰子 様 阿部 栄子 様
阿部 尚子 様 阿部 はつ子 様
星 絹子 様 小野 武彦 様
加藤 孝彦 様 佐藤 紀義 様
和田 百合子 様 佐藤 壽雄 様
菅野 恵美子 様

民生委員・児童委員活動支援者（感謝状）

八巻 宗夫 様 大槻 重行 様
目黒 正紀 様 菊地 功 様
佐藤 新造 様 齋藤 嘉代 様



第91回全国民生委員・児童委員大会受賞者

期日：令和4年10月19日

●民生委員・児童委員功労者表彰（20年表彰）

船山 定男 様

●永年勤続民生委員・児童委員表彰（10年表彰）

伊藤 誠一 様 菊地 友一 様 佐藤 隆一 様



ボランティア通信 いざという時のもしもに備えよう ～災害にあう前に知っておきたいこと～

自宅がもしも水害にあったら

令和元年東日本台風では多くのボランティアが丸森町に駆けつけてくれました。今回の研修では災害ボランティアセンターでこういった活動をしていたのか、そして、自宅が水害を受けてしまったら、どのようなことが起こりうるのかを模型を使いながら研修を行いました。



12月9日(金)に舘矢間まちづくりセンターの研修室に床と壁を再現した模型を設置して、実技の研修会を行いました。模型は床下から壁の断熱材まで再現されており、かなり本格的なもので、準備の段階から電動工具の大きな音がしていたので参加者の方々はここが本当に会場なのかと思った方もいたようです。

はじめに、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦さんからは、災害ボランティアセンターの役割と機能について話をいただきました。写真や映像を使って、なぜ災害時にボランティアの力が必要なのかをわかりやすく説明していただきました。



実技のコーナーでは、一般社団法人OPEN JAPAN 災害支援プロジェクトの手代千賀さんから、模型を使いながら、もし自宅が水害にあった場合どのようなことをすればよいのか教えていただきました。また、浸水があった家をそのままにしておくことで起きる、カビの健康被害などについても話していただきました。参加者は熱心にメモを取っていました。

床板はがしと電動工具の体験では、特に女性の方が初めて触る道具などにおっかなびっくりしている姿に男性の参加者がサポートする場面も見受けられました。体験コーナーには講師の先生以外の指導者がたくさんいる状態に…。床板はがしもコツを教えてくださいと思ったより力が要らなかったと皆さん驚かれました。参加者からは、自分のできる範囲でボランティアをしたいとの声を多く聞くことができました。



こども園・保育所の地域交流

こども園・保育所以外の大人の方々とふれ合う機会を設けることで、その経験を通して心も体も成長し、多くの学びを得ることが期待できます。こども園・保育所では地域の皆さまのご協力を得て地域交流を図っています。

たんぽぽこども園 伊具高生の防災紙芝居読み聞かせ 2022.10.11

4歳児が伊具高生のお兄さん・お姉さんに防災についての手作り紙芝居を読み聞かせしてもらいました。「何の紙芝居だろう」と興味津々に紙芝居を見て、「絵も読み方も上手だったね」と嬉しそうに話していた子どもたちでした。紙芝居を通して、台風時の避難の仕方を学ぶことができました。その後は、子どもたちがダンスを披露したり、一緒に遊んだりと交流を楽しみました。



▲紙芝居を真剣に見ています



▲忍者の衣装を着て元気いっぱいダンスを踊りました

ひまわりこども園 阿武隈急行ラプラス&ラッキーラッピング列車乗車体験 2022.10.25

3・4・5歳児が阿武隈急行ラプラス&ラッキーラッピング列車に乗車させていただきました。ラプラスの車両には仙台七夕まつりをイメージした吹き流しがあしらわれていたり、車内には宮城・福島の観光スポット紹介のポスターが装飾され、園児は「ここにもポケモンいたよ!」「これ知ってる!」など興奮しながら話をしたり、走行中はトンネルの数を数えながら暗くなる度に「おお!」と反応し、トンネルを抜けると窓から見える景色を楽しんでいました。



▲宮城・福島の観光スポットやポケモンマンホールスポット、グッズの紹介ポスターが装飾されていました



▲運転席に案内してもらい、操縦の仕方などを教えていただきました



▲みやぎ応援ポケモンの「ラプラス」のイラストに興味津々でした



▲ふくしま応援ポケモンの「ラッキー」のイラストの数を数える園児たち

大内保育所 筆甫散策～秋の自然に触れて～お寺の鐘つき体験～ 2022.11.15

4・5歳児がバスに乗って筆甫へ行き散策をしてきました。車中から山の木々を見て「黄色い葉っぱだ。赤いのもある。」と、紅葉の美しさに気付いた子どもたちです。

常照寺のご協力を得て鐘つき堂の木の梯子を登ったり、鐘をついたりするなど貴重な体験をさせていただきました。実際に釣り鐘を傍で見て大きさに驚いていた子どもたちでした。



▲バスを降りて葉っぱを拾い集め、形や大きさの違いを発見しました



▲鐘をつくのは難しかったけれど、近くで音を聞くことができました

こども園・保育所での交流

さまざまな人とかがわって人とつながる力を育めるようにしたり、子どもたちが同じ目標に向かって頑張ろうとする力や協同意識を育むことなどを目的として、こども園・保育所間で交流をしています。

サッカー交流会 2022.11.10

たんぽぽこども園の園庭において、町内4施設（たんぽぽこども園・ひまわりこども園・大内保育所・ひっぽ そのつ森保育園）の年長児が集まり、サッカー交流会を行いました。宮城県サッカー協会のコーチ2名と一緒にサッカーを楽しみました。10チームに分かれての交流試合では、今までコーチから教えていただいたことを活かし、チーム毎に作戦を考えたり、応援したりとワールドカップに負けない盛り上がりとなりました。



▲コーチもチームに入って試合開始です



▲サッカー交流を通して心を通わせ、友だちの輪が広がりました



▲ゴールを目指してボールを追いかけます

放課後児童クラブ「大張っ子クラブ」のご紹介

冬休みの長期休暇期間に小学校1～6年生までの大張&耕野地区の児童が大張っ子クラブを利用しました。年末には「こども忘年会」を行ない、ジャンケン列車や大縄跳び・伝言ゲーム・抽選会・折り紙でりんごの皮むき大会などをしたり、年始には旧大張児童館でのMKフィットネスを体験させていただき、体をたくさん動かしておもいきり遊んでできました。「運動が嫌いだけど、運動の楽しさを知りました」「ここでムキムキになります!」などの感想も聞かれました。



▲忘年会で大縄跳びをしました



▲ランニングマシーン初めてで楽しかったよ



▲グローブを借りて、打ち合いをしました

うぐたんが行く！

丸森町社会福祉協議会の事業について、うぐたんと一緒に紹介していくコーナーだよ！今回は、赤い羽根共同募金について紹介するよ！



赤い羽根共同募金運動って？

赤い羽根がシンボルの共同募金、日本での始まりは、戦後間もない昭和22年に市民が主体の民間運動として始まりました。その後、社会福祉法に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「自分のまちをよくするしくみ。」として取り組まれています。

丸森町共同募金委員会では…

募金活動

- 戸別募金：町内全世帯を対象とした募金
- 法人募金：会社・企業を対象とした募金
- 学校募金：小・中学校、高校を対象とした募金
- 職域募金：町内の事業所職員を対象とした募金
- ハートフルベンダー募金：自動販売機型募金
- 募金箱の設置：町内105か所に設置
- 町内の小学生対象に「赤い羽根募金箱をつくろうコンクール」の開催



募金はどんなことに使われている…？例えば…



高齢者福祉推進事業

- 一人暮らし高齢者お誕生カードプレゼント事業
65歳以上の一人暮らしの方にお誕生カードと絵手紙をボランティア、民生委員・児童委員協力のもとプレゼントしています。

災害支援事業

- 災害等準備金
赤い羽根共同募金は、災害の支援金としても活用されます。丸森町でも令和元年台風災害時にボランティアセンターの活動支援に使われています。



2年ぶり！館矢間小学校6年生と募金運動！

丸森町共同募金委員会では10月11日に館矢間小学校6年生の協力のもと募金運動を実施しました。

町役場と周辺事業所に訪問して、職員を対象に募金を呼びかけたところ、小学生の元気な声掛けのおかげで多くの皆様にご協力を頂くことができました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



家族介護者交流サロン ～多肉植物でリラックス～

家族の介護をされている方を対象に同じ思いを抱えた介護者ならではの経験や介護方法を共有することで、悩みや不安感を和らげることを目的として開催しています。

今回は、12月13日(火)に多肉植物の寄せ植えを行いました。育てるのも難しくなく、手軽でかわいらしい多肉植物の姿は家でホッと一息ついたときに眺めているととても癒されると、参加された方は話されていました。



次回の家族介護者交流サロン「おしゃべりカフェ」は令和5年3月22日(水)予定です。



生活福祉資金貸付制度 教育支援資金のご案内

低所得世帯に対して高等学校、大学、又は高等専門学校に入学・就学するために必要な資金貸付を行います。※他制度による借入ができる場合は、その制度の利用が優先となります。

	内 容	貸付限度額	
		月額	総額
教育支援費	授業料・交通費など、就学に際し必要な経費	高等学校	35,000円以内
		高等専門学校	60,000円以内
		短期大学	60,000円以内
		大 学	65,000円以内
就学支度費	入学金、入学に際し必要な経費、制服代など	50,000円以内	

お問い合わせ

詳しい内容は、下記のお問い合わせ先に気軽にご相談ください
丸森町社会福祉協議会 電話 72-2241

困りごと…悩みごとは…

生活相談所

へどうぞ！

相 談 日	
2月7日(火)	3月7日(火)
21日(火)	22日(水)

丸森町社協～なんでも相談～公式LINE▶



時 間：午前10時～正午
場 所：丸森まちづくりセンター1階 婦人研修室

LINEでの相談はこちらから！
受付時間 平日の午前8時30分～午後5時15分

うぐたんピンバッチ

丸森町社会福祉協議会公式マスコットキャラクターのうぐたとコラボした丸森町限定ピンバッチを500円以上の募金をしていただいた方に1個進呈しております。皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

丸森町共同募金委員会事務局
電話：72-2241

丸森町共同募金委員会

じよんの町を良くするしくみ、赤い羽根共同募金



丸森町社会福祉協議会公式マスコットキャラクター
丸森町限定 うぐたん

「令和4年7月15日からの大雨に係る災害義援金」「令和4年8月大雨災害義援金」の御礼とご報告

令和4年7月15日、令和4年8月の大雨災害により被災された方々を支援するため、丸森町共同募金委員会では町役場、各地区まちづくりセンターに募金箱を設置させていただきました。義援金の合計額は下記のとおりとなりました。お寄せいただいた義援金は、被災者の共同募金会を通じて被災者へ配分されます。皆様のご協力ありがとうございました。

義援金 3,531円

宮城いきいき学園 令和5年4月 入学生募集

- 対象** 県内に居住の60歳以上の方（過去に卒業された方の再入学はできません。）
- 場所** ①仙南校（蔵王町ふるさと文化会館「ございんホール」 蔵王町大字円田字西浦5）ほか、②大崎校、③石巻校、④気仙沼・本吉校、⑤登米・栗原校
- 募集人数** ①・②：35人 ③・⑤：30人 ④：20人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集定員を減らす場合があります。
- 学習日** 年間21日（2学年制）
- 内容** 「健康で豊かな人生の創出」「地域貢献活動への参画」「特別活動」の3領域で構成し、講義・演習・実技・体験・自主活動等を通して2年間で学習するように編成しています。
- 募集期間** 令和4年12月1日～令和5年3月31日
- 料金** 入学金 5,000円 受講料 年間20,000円

申込書は宮城県社会福祉協議会ホームページのほか、市町村の高齢者福祉担当課及び生涯学習課、市町村社会福祉協議会から入手できます。

お問い合わせ

宮城県社会福祉協議会
いきがい健康課
電話：022-225-8477

あたたかい善意ありがとうございました

（令和4年10月1日～令和4年12月28日）

「丸森町の福祉に役立ててください。」と次の方から寄付をいただいておりますので、紹介します。（敬称略）

●地域福祉

金銭寄付

- 10/18 ひまわり歌謡民舞の会
- 10/31 仲川 喜代美
- 11/2 福島ヤクルト販売株式会社ヤクルト親交会
- 12/5 宮城県伊具高等学校生徒会
- 12/26 長泉寺

物品寄付

- 10/19 石井 宏美
ランドセル

自動販売機募金

- ・船山建設株式会社 3,872円
- ・有限会社小野商店 6,270円
- ・株式会社佐藤製作所 3,140円
- ・有限会社みやぎダイキャスト 1,208円

●こども園・保育所

物品寄付

- 10/27 齋藤 慶昭
葉牡丹の苗（ひまわりこども園へ寄付）
- 12/23 丸森ロータリークラブ
クリスマスプレゼント（菓子詰合せ）
（3施設へ寄付）

【お詫びと訂正】

「社協まるもり」Vol.101において掲載した、自動販売機募金にご協力いただいた企業様の名称に誤りがございました。下記のとおり訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

誤：有限会社佐藤製作所→正：株式会社佐藤製作所

広報委員

委員長 八島 健・副委員長 佐藤千賀子・森 浩・船山和子・佐藤克朗・齋藤洋一・門間郁子